

# 学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子  
考える子・優しい子・元気な子



## 4、5月。『進んであいさつしよう』に全校で取り組みました

加茂野小学校長 堀部 昇

廊下で「校長先生、おはようございます」「校長先生、こんにちは」と先駆けて名前を付けて挨拶してくれる子に出会います。今なお、第1期のやりきり目標『自分から進んであいさつしよう』を率先して行う子どもたちです。また、朝の会では「世界中の子供達が一度に笑ったら、空も笑うだろう」と、元気な歌声が聞こえてきます。



あいさつカードを手渡す6年生

体育の準備運動の音がひととき大きく聞こえてきます。『進んであいさつ』が大きな渦となって広がり、大きなエネルギーとなって、子どもたちの明るさや元気につながっているようです。

こうしたあいさつへの取組。生活委員会や6年生が中心となって盛り上げてくれました。



生活委員長さん

生活委員長さんは、「生活委員があいさつ運動をして、そのあとに6年生があいさつ名人に挨拶カードを配る取組をしたことで、自分から元気なあいさつをできる子が増えてとてもうれしい。自分たちで頑張って学校がよくなっていくのもうれしい。やってよかった。あいさつすると自分も相手も気持ちよくなる。」と笑顔で語ってくれました。

また、児童集会では、児童会長さんから、「6年生を中心に行ったあいさつ運動では、率先して先駆けあいさつをしてくれる低学年の子がたくさんいました。加茂野小学校があいさつでいっぱいになったと思います。第1期は終わりましたが、目を見てあいさつや名前つけあいさつなどを意識してこれからもあいさつの質を高めていきましょう。」と話がありました。

6年生があいさつ名人に配った「あいさつ名人カード」は10枚ためるごとにB4版のシートに貼ってポストに投函します。（2年生以上の取組）投函されたシートは、学級ごとに掲示しましたが、重すぎて2つ目のファイルを用意した学級もあります。ファイルの重みや厚みの分だけ、挨拶を交わしたと思うと、学校は、計り知れない数のあいさつで互いがつながっていることが分かります。あいさつの大切さをあらためて実感しているところです。



ポストに投函します



学級ごとの掲示